

令和6年度

大仙市立大曲南中学校

研究発表会



「ストーリー」と「ネットワーク」で紡ぐ
「ESD for SDGs」

研究の概要説明

2024年11月22（金）

秋田県大仙市立大曲南中学校

研究主任 佐藤 麻希





国登録有形文化財「旧本郷家住宅」 将棋竜王戦第六局の会場

秋田魁新聞から



AKITA SDGs



unesco

Member of
the Associated Schools
Network

2009 ユネスコスクールに認定

第5回 SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞



第5回「SDGs岩佐賞」受賞者発表！

日頃の課題に真摯に向き合い、SDGs達成に向けて活動している人たちを応援したい——そんな思いから、公益財団法人岩佐教育文化財団が2022年に創設したのが「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」(SDGs岩佐賞)です。第5回の応募総数は646件。厳正な審査を経て、全8部門30個体の受賞が決定しました。すべての受賞者の活動詳細と喜びのコメントは、朝日新聞SDGs ACTIONに掲載しています。来月からは、第6回「SDGs岩佐賞」のエントリーを受け付け開始。岩佐教育文化財団はこれからも、SDGs達成のために地道な努力を重ねるみなさんを応援し続けます。

医療の部

- 一人でも悩まない! アトピーの記録-情報交換アプリを開発 (代賞者 長瀬美穂さん) 賞金 500万円
- 災害時の深刻なトイレ不足、自治体の相互連携で解消を図る (一般社団法人あいのしやん (代賞者 長瀬美穂さん) 賞金 500万円

教育の部

- パングラデシュの少女に、人生の選択肢を広げる教育を (代賞者 山口美穂さん) 賞金 300万円
- カーナで公立学校を開放-運営費削減の連鎖斬り切り実案を実現 (代賞者 長瀬美穂さん) 賞金 300万円

福祉の部

- 経済格差を教育格差にしない! すべての子どもに学ぶ場を (代賞者 長瀬美穂さん) 賞金 500万円
- 生きるのがつらい子ども-若者に安心して利用できるWeb空間を提供 (代賞者 長瀬美穂さん) 賞金 500万円

経済の部

- 難民やシングルマザーを「デジタル人材」と育成 (代賞者 長瀬美穂さん) 賞金 500万円

平和・人権の部

- 障害者や高齢者との壁を越えて「対等な対話」を楽しむ体験を (代賞者 長瀬美穂さん) 賞金 500万円

芸術・スポーツの部

- 義足ユーザーに「走る楽しさ」届けた! 高性能で安価なスポーツ用義足を開発 (代賞者 長瀬美穂さん) 賞金 2,000万円

第55回博報賞功労賞

独創性と先駆性を兼ね備えた教育活動



第14回 ESD大賞 ESD優秀賞

NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム
2023年度 ESD大賞



1年生の後半は、性別についてのプログラムを実施した。ストーリーは『過去』→『現在』→『未来』の時系列の展開である。初めは、家庭科の在籍の学習で、国登録有形文化財「日本郵便住宅」を訪れ、地元の一級建築士北塚理史氏の解説のもと、昔と今の家をエネルギーの観点で比較した（過去の家）。

次に、清水ハウスの出前講座「いこエコロジーセミナー」を実施し、今の家の断熱について実験を通して学んだ（現在の家）。最後に、再び北塚氏の指導で「未来のエコハウスを設計しよう」という課題に取り組んだ（未来の家）。生徒は、多角的にSDGを学び、2年生のストーリーにつなげた。

2022年度のプログラム

2年生は「エネルギー」でストーリーを展開した。オーステッド・ジャパンによる、洋上風力発電のVR体験をした後、実際の風力・太陽光発電所等の再生可能エネルギー施設を見学した。その後、未来のためのESDデザイン研究所高橋千代子氏を招いての、気候変動とストーリー授業に取り組んだ。さらには、修学旅行でオーステッド・ジャパンを訪ね、自分たちが学習したことをプレゼンするとともに、洋上風力発電を詳しく学んだ。

理科の授業では、東北電力の様々な発電に関する出前講座や、産業創発総合研究所安藤尚の氏による上巻の理科電池講座を実施し、エネルギーについて学びを深めた。

最後は、前年からお世話になっている北塚氏の指導で、前年実施の「エコハウスを設計しよう」からつながる「エコシティーを設計しよう」という授業でまとめ、SDG17の目標のつながりや達成の意義を自分事として捉えた。

2023年度のプログラム

3年生は「国際理解」でストーリーを展開した。初めに、国際教養大学の留学生と、海外のSDGへの取り組みや考え方にについて意見交換を行った。次に、日本キリスト教団のケンタロ・オノ氏をファシリテーターとして、キリストの中学生とのオンライン交流を行った。気候変動の影響をいち早く受け、国士が毎日に直面している深刻な状況であるキリストの同年代の子どもたちとの交流を通して、気候変動をより切実に感じ、自分たちは何ができるのかを考え促された。さらに、修学旅行では、オーステッド・ジャパンの本社がある環境先進国のデンマーク大使館を訪ね、自分たちの取組をプレゼンするとともに、デンマークの環境対策について学んだ。このような学びを通して、「誰一人取り残さない」未来、世界のみんなが幸せになれる未来を目指したい」と強く思うとともに、グローバルな視点で世界の出来事捉え、当事者意識をもってSDGの達成に向けて行動しようとする意識を高めた。

3 成果と評価

右のグラフは、本校が掲げる「E」の目標である「大曲南中ESD『学習で身に付けた力』」についてのアンケート結果を表したものである。1年間の学びの振り返りであり、自己評価である。これまでの取組によって、本校が目指してきた「E」の目標が、十分達成できていることが見て取れる。

また、右の文章は、キリスト交流を終えた3年生の振り返りである。学習を通して、SDGの達成に向けて「世界」を意識し、自分がやらなければならないという当事者意識が芽生えている。これら生徒の感想等の文章も、振り返りの定評であるとともに、記述した本人の自己評価のものでもある。さらに、感想発表やプレゼン等から相互評価することも進めてきた。「SD」の目標達成が、意識変容と行動変容となって表れていることが見て取れる。

課題としては、ESDストーリーマップを完成させたことで、教育目標の具現化のためのESD実践に一本の軸ができ、方向性と連続性を確立することができた反面、ストーリーの効果を生徒に委ね、自らの意思と熱意で学びを進めさせることまでには至らなかったことである。教師のファシリテーターとしての授業向上も課題である。SDGの認知度が高まってきている現在、社会に開かれた教育課程の実施と、これまで培ってきたネットワークの活用により、地域のESDフロントランナーとなるべく実践を続けたい。

大曲南中 ESD『学習で身に付けた力』の評価

気候変動の問題は大きすぎて、子どもたちにもできることは少ないです。でも、年齢や地位、人種、言葉の壁を横切してしまえば、たくさん人の知恵が1つになって解決の道ひとつつながっていきます。そうすれば、国や島、生きものだけでなく、地球や『未来』まで救えるのです。そういうことを世界に広める人間として生きていきたいです。

私たちが平等に、平和に活躍できる笑顔あふれる未来を創るのは私たち自身です。国境の人もただでなく世界に発信することの素晴らしさを学ぶことができました。これからも一緒に世界中のみんなが幸せになれる未来を創りましょう。



気候変動の問題は大きすぎて、子どもたちにもできることは少ないです。でも、年齢や地位、人種、言葉の壁を横切してしまえば、たくさん人の知恵が1つになって解決の道ひとつつながっていきます。そうすれば、国や島、生きものだけでなく、地球や『未来』まで救えるのです。そういうことを世界に広める人間として生きていきたいです。

私たちが平等に、平和に活躍できる笑顔あふれる未来を創るのは私たち自身です。国境の人もただでなく世界に発信することの素晴らしさを学ぶことができました。これからも一緒に世界中のみんなが幸せになれる未来を創りましょう。

第2回 2050年 社会はこうなってほしい 炭素ゼロ社会をつくる アイデア募集

日本環境教育学会長賞
(最優秀賞)
&
日本環境教育学会賞
(優秀賞)

日本環境教育学会

①「2050年の社会とくらしはこうなっている、こうしている」アイデア（書式自由）

◇テーマ「農業×アパレルで目指す循環型社会！」

秋田県のエだまめは、平成27年、28年、令和元年に、東京中央卸売市場の出荷量日本一になりました。出荷量だけではなく、多くのオリジナル品種もあります。そして、何といても、とてもおいしいです。私たちは、このエだまめを地球温暖化防止に役立てられないか考えました。そこで注目したのが、エだまめを商品として出荷した後の、葉や枝です。これは、ただ捨てられてしまいます。生産量が多くなればなるほど、このような廃棄物が多く出ます。これを何かに利用しない手はないと考えました。

私たちは、このエだまめ廃棄物を、「スーツ」に利用することを考えました。そして、農家とアパレルメーカーを結んで、社会や経済を回し、循環型社会を作ること考えました。

具体的には、



①秋田県で盛んに生産されている枝豆を原料として生地を作ります。枝豆の莢や葉は使われずに廃棄されてしまうので、その部分を利用して繊維にして布を作ります。資源を無駄にせずすみ、SDGsにも貢献することができます。



②生地を染めるには、地域のカフェなどから出るコーヒーのからや、高麗野菜を使います。ここでも廃棄物を無駄なく利用することができSDGsにつながります。



③また、ボタンにもこだわります。お米の中の食べられないものや燃やすことのできないものを有効活用するために、お米でボタンを作ります。それは、地産地消と地域活性化につながります。



④そして最後は、枝豆の莢から出来たスーツを自然へと返します。着られなくなったり、いらなくなったりしたスーツを回収し土に埋めて肥料とします。元々、植物ですので、腐って有機肥料となります。そして次の年、枝豆栽培の肥料として利用します。これで、完全循環型スーツができます。



現在私たちは、この完全循環型スーツ「えだまめスーツ」のアイデアを、地元のスーツ製造メーカーである「大同衣料」に提案しています。「大同衣料」は私たちのアイデアを真実に受け入れてくれ、秋田県総合技術センターや秋田高専と共有し、実現に向けて動き出しているそうです。2050年には、きっと実現していると思います。地球温暖化防止のための循環型社会と同時に、地域活性化も目指しています。

最上位目標 持続可能な社会の創り手の育成

令和6年度 大曲南中学校グランドデザイン

持続可能な社会の創り手の育成

教育目標「自律 貢献 創造」

～ 夢大きく 協働的に探究し 持続可能な社会の創り手となる ～

(1)SDGsの達成に向けたESDの実践による「生きる力」の育成 (2)「確かな学力」向上のための「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 (3)特別支援教育の充実 (4)大仏教育メソッドによる地域等と連携した教育活動の実施



学びに向かう力、人間性等

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

何ができるようになるか

- 多様な他者と協働しながら探究的に学ぶこと
- 「問い」を立て解決の方法を考え実行すること
- 批判的、多面的・総合的に考えること
- 学んだことを発信したり、生活に活用したりすること
- 社会の一員としての自覚をもち、社会に貢献すること

ウェルビーイングの向上

何を学ぶか

- 各教科等の内容及び学ぶ意義
- 総合的な学習でのSDGsの達成に向けたESDの実践による「食育」「エネルギー・気候変動教育」「国際理解・起業教育」の系統的な学びとつながり
- 他者・社会・自然との関連性を認識し、行動化につながる新たな価値観
- 他者と協力する態度や進んで参加する態度

どのように学ぶか

- 教科の特性に応じた「見方・考え方」を働かせたり、ICT等を活用した個別最適な学びと、学び合い等による協働的な学びを一体的に充実させることにより、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
- SDGsの達成を視野に入れながら、各教科等横断的な視点でESDを推進する。

実施するために何が必要か

- 「社会に関わった教育課程」の実現→「外部との連携」「外部への発信」「ESDストーリーマップ」
- SDGsの達成に向けたESDの実践による多様な教育活動の展開→「探究的な学び」「PBL」
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善→「授業で勝負」「個別最適な学びと協働的な学び」
- 多様性を踏まえた「誰一人取り残さない」教育→「ICT活用」「特別支援教育」
- well-beingな教育環境→「主体的な生徒会活動」「人の力を活用」「業務改善」

教育目標

自立 貢献 創造

～夢大きく
協働的に探究し
持続可能な社会の
創り手となる～

ESDはEducation for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む（think globally、act locally）ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

つまり、ESDは
持続可能な社会の創り手を育む教育です。

（文部科学省ホームページ

<https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm>より)

【前文】

これからの学校には、(中略)一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、

持続可能な社会の創り手となることができ
るようにすることが求められる。

【第1章 総則】

第1 中学校教育の基本と教育課程の役割

3 (前略)豊かな創造性を備え 持続可能な社会の創り手
となることが期待される

生徒に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、(中略)総合的な学習の時間及び特別活動(中略)の指導を通して、どのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図るものとする。

【SDGsターゲット4.7】

2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。



ESDの目標

E：教育

「学習で身に付けたい力」

SD：持続可能な開発

「持続可能な開発について
考え実践する力」

目標 E：教育

「学習で身に付けたい力」

- ・ 批判的に考える力
- ・ コミュニケーションを行う力
- ・ 多面的・総合的に考える力
- ・ 進んで課題を見つける力
- ・ 学んだことを発信する力
- ・ 生活に活用する力

大曲南中ESD

【学習で身に付けたい力】

- ・ 批判的に考える力
- ・ コミュニケーションを行う力
- ・ 多面的・総合的に考える力
- ・ 進んで課題を見つける力
- ・ 学んだことを発信する力
- ・ 生活に活用する力

E S D

永遠に 住み続けるための 土台づくり

大曲南中ESD キッチプレートズ

目標 SD：持続可能な開発

「持続可能な開発について
考え実践する力」

- SDGsに関する知識・技能
- SDGs達成に向かう意欲
- 課題解決方法の考察
- 行動変容、実践力

目 標

資質・能力を
身に付ける

持続可能な開発
を考え実践できる

手 段

カリキュラムの
実行

ホールスクールによるカリキュラムの実行

カリキュラム・マネジメント

ESDカレンダー

令和6年度 大曲南中学校 ESDカレンダー（2年生）

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める	読者の意識を高める 読者の意識を高める 読者の意識を高める
社会	日本の歴史と文化		日本の歴史と文化		日本の歴史と文化		日本の歴史と文化		日本の歴史と文化		日本の歴史と文化	
数学	数の性質	算数・算術	1次関数		二次関数		平均と分散	比例と反比例	確率	データの活用		
理科	生物の観察と実験		生物の観察と実験		生物の観察と実験		生物の観察と実験		生物の観察と実験		生物の観察と実験	
外国語	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎	英語の基礎
音楽	音楽の鑑賞		音楽の鑑賞		音楽の鑑賞		音楽の鑑賞		音楽の鑑賞		音楽の鑑賞	
美術	絵の鑑賞	絵の鑑賞	絵の鑑賞		絵の鑑賞		絵の鑑賞		絵の鑑賞		絵の鑑賞	
保健体育	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ	スポーツの楽しさ
技術	情報に関する学習				生物資源に関する学習							
家庭	食生活と健康				食生活と健康				食生活と健康			
総合的な学習の時間	『エス・エス・エス』～地域とのかかわり～（8～11月）						『夢とめ』（12～1月）			上級学校へ向けての学習		
特別活動	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備	行事の準備
道徳	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習	道徳の学習

A: 美と徳
B: エス・エス・エスと芸術鑑賞
C: 職業実践とSDGs

真に付たい能力・態度
芸術的に育める力
多様な・多面的に育める力
学んだことを発信する力

真に付たい能力・態度
コミュニケーションを行う力
進んで問題を解ける力
生涯に活用する力

ESDカレンダー

家庭	C 資源を大切にされた衣生活 生活に役立つ小物づくり				BC 地球に優しい住生活		AC 調理と食文化		AB 環境に配慮した消費生活			
総合的な学習の時間	B エネルギーと気候変動 ～社会とのかかわり～ (6～11月) 「まとめ」(12～1月) ①緑のカーテンプロジェクト ②校外学習(洋上風力発電、メガソーラー発電所、バイオマスエネジー) ③東北電力出前授業 ④気候変動のミステリー授業 ⑤エコシティをつくろう								上級学校調べ 適切な進路選択に向けて上級学校について知ろう			
特別活動	自分たちの学級を作ろう	将来の生き方と学習	『働く』ことについて考える	自分の力をボランティアに生かす		学ぶための制度と機会	適性を生かした進路を考えよう					
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと好きです ・先導 	<ul style="list-style-type: none"> ・く留学で考えさせられた体験 ・ほめた褒められるのに ・疑問もがまやせよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・たったひとつのたからもの ・C 六千人の金のビザ ・C 国際的な国際語 	<ul style="list-style-type: none"> ・信えるということ ・一枚のはがき ・演劇はやさしさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・たすきとがたがた 	<ul style="list-style-type: none"> ・怒りの救助活動 ・SNSとどうつき合おう? ・家の果物屋 	<ul style="list-style-type: none"> ・違反検発 ・五万回斬られた男 	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしのいいじゃない ・暑道男 ・悪る気持ちはあるのに 	<ul style="list-style-type: none"> ・狂言師・お茶屋・お茶屋 ・お茶屋の守り ・お茶屋へ、そしてまたお茶屋へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・御目にとどまらず、御心を ・振りかける目 ・お茶屋の上通って 	<ul style="list-style-type: none"> ・海と～世界のの人々 ・三年生を語る会 ・く真に立つオン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッチを開けて、知らない世界へ

A:食と住
 B:エネルギーと気候変動
 C:国際交流とSDGs起業

身に付けたい能力・態度

批判的に考える力

コミュニケーションを行う力

多面的・総合的に考える力

進んで課題を見つける力

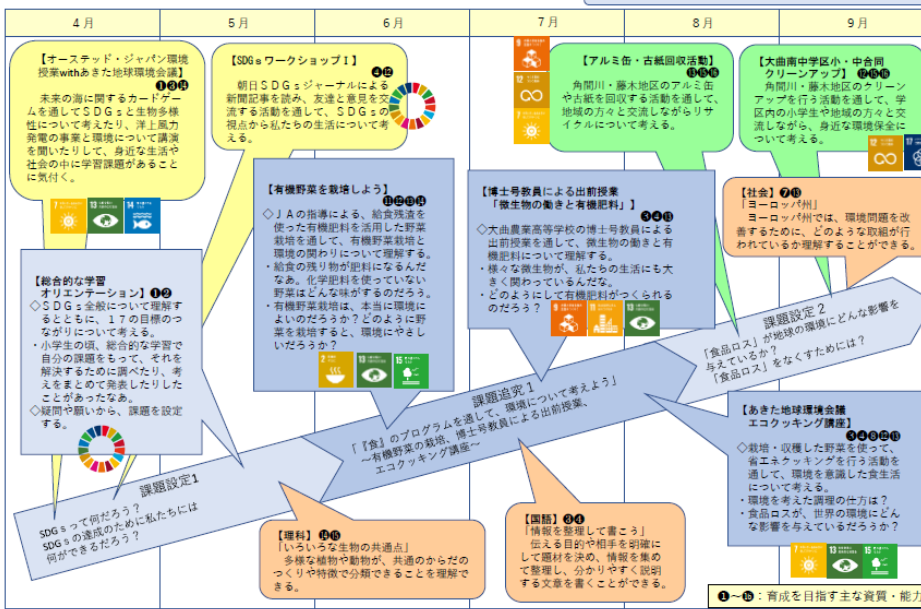
学んだことを発信する力

生活に活用する力

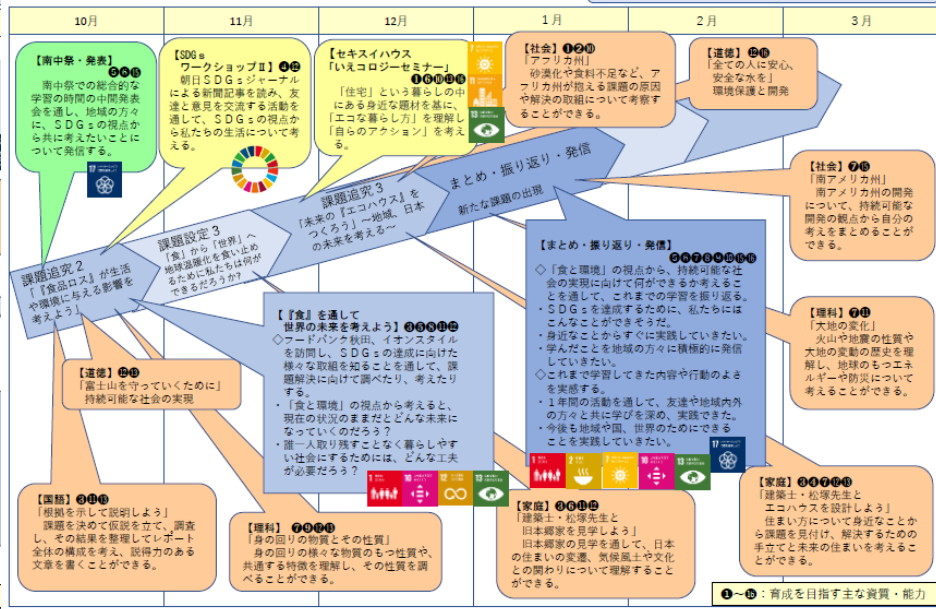
能力・態度の「つながり」

ESDストーリーマップ

第1学年ESDストーリーマップ「食と環境」(1)



第1学年ESDストーリーマップ「食と環境」(2)



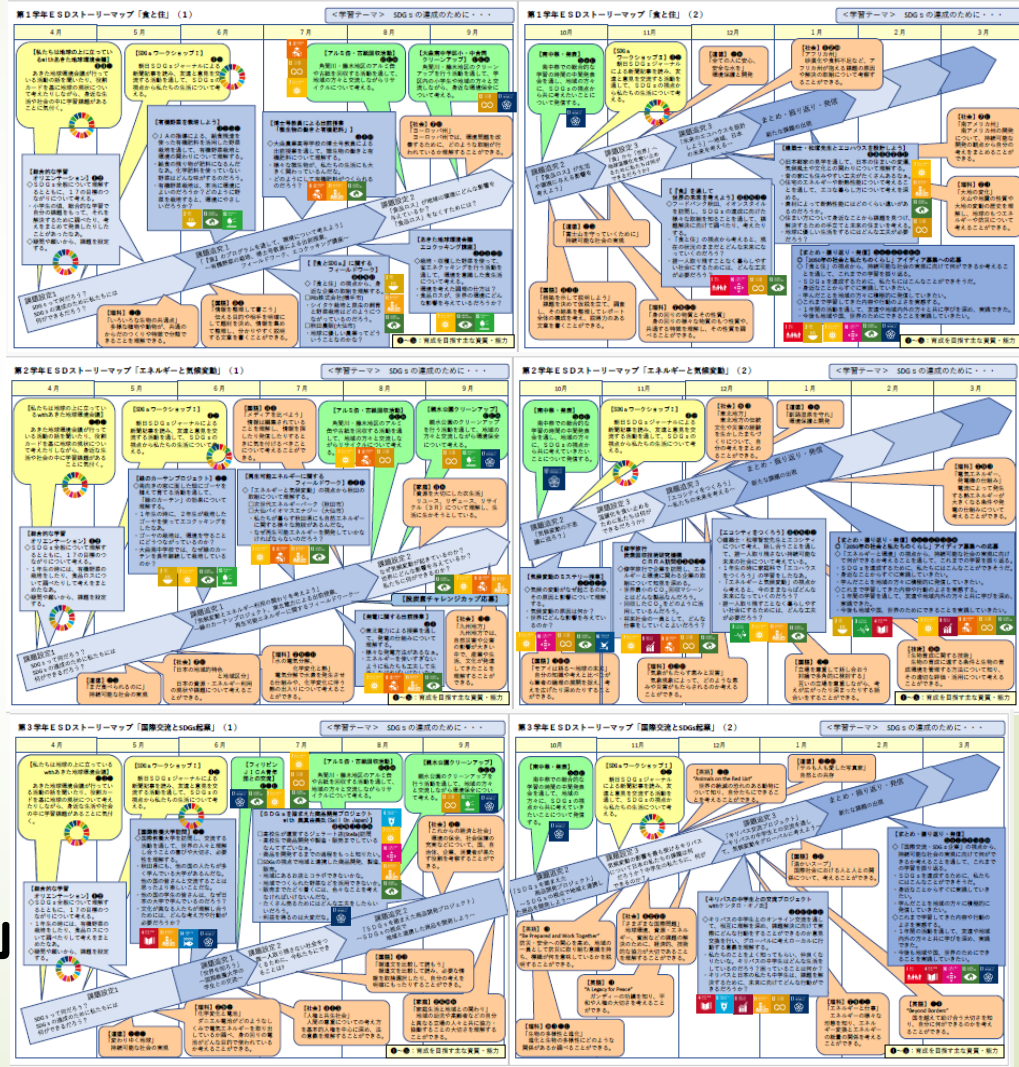
総合的な学習の時間のストーリー (探究的な学習の流れ)
+
教材の「つながり」 (各教科等とのつながり)
+
人の「つながり」 (外部とのつながり)

令和6年度 学びのストーリー

1年「食と住」

2年「エネルギーと気候変動」

3年「国際理解とSDGs商品開発」



The image displays 12 hand-drawn SDG story maps, organized into three rows and two columns. Each row represents a grade level (1st, 2nd, and 3rd), and each column represents a different theme. The maps are titled as follows:

- Row 1 (Grade 1):**
 - Map (1): 1st Year SDG Story Map "Food and Housing" (食と住)
 - Map (2): 1st Year SDG Story Map "Food and Housing" (食と住)
- Row 2 (Grade 2):**
 - Map (1): 2nd Year SDG Story Map "Energy and Climate Change" (エネルギーと気候変動)
 - Map (2): 2nd Year SDG Story Map "Energy and Climate Change" (エネルギーと気候変動)
- Row 3 (Grade 3):**
 - Map (1): 3rd Year SDG Story Map "International Understanding and SDG Product Development" (国際理解とSDGs商品開発)
 - Map (2): 3rd Year SDG Story Map "International Understanding and SDG Product Development" (国際理解とSDGs商品開発)

Each map is a monthly calendar from April to March. It features various icons, text boxes, and arrows indicating learning activities and goals for different SDGs. The maps are highly detailed and colorful, showing a variety of educational projects and discussions throughout the year.

事例

「未来のエコハウスを設計しよう」
(1年家庭科、総合的な学習の時間)

○ストーリー

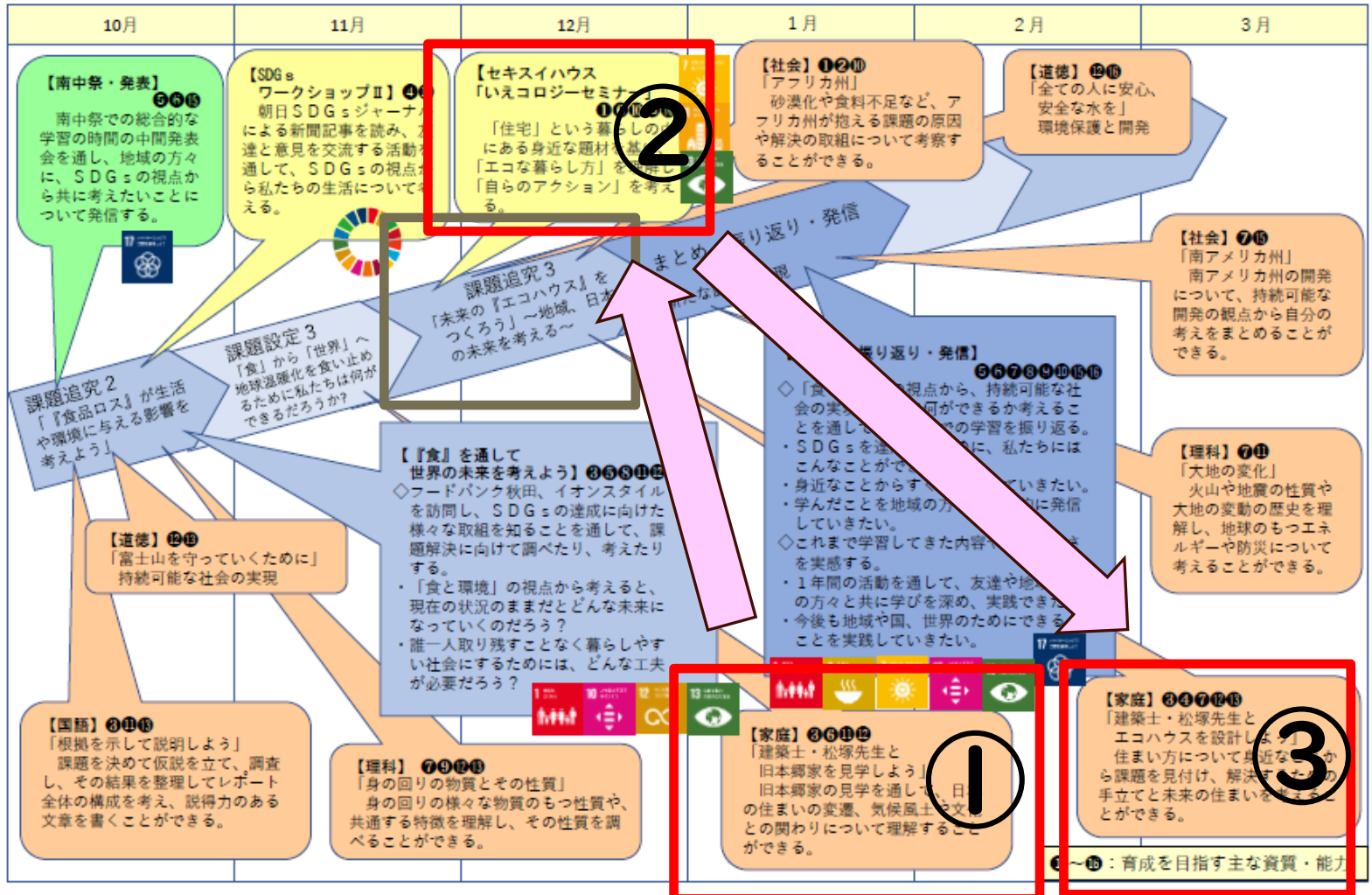
「過去」 → 「現在」 → 「未来」

○ネットワーク

ローカル (地域・企業)

第1学年ESDストーリーマップ「食と環境」(2)

<学習テーマ> SDGsの達成のために・・・



第1学年ESDストーリーマップ

4月

【オーステッド・ジャパン環境授業withあきた地球環境会議】
未来の海に関するカードゲームを通してSDGsと生物多様性について考えたり、洋上風力発電の事業と環境について調査を回したりして、身近な生活や社会の中に学習課題があることに気付く。

【総合的な学習オリエンテーション】
◇SDGs全般について理解するとともに、17の目標のつながりについて考える。
◇小学生の頃、総合的な学習で自分の課題をもって、それを解決するために調べたり、考えをまとめて発表したりしたことがあったなあ。
◇疑問や関心から、課題を設定する。

課題設定？
SDGって何だろう？
SDGsの達成のために私たちに何ができるだろう？

3月

6⑥
「アフリカ州」
アフリカ州の開発、持続可能な開発の観点から自分の考えをまとめることができる。

6④
「大地の変化」
火山や地震の性質や大地の変動の歴史を理解し、地球のもつエネルギーや防災について考えることができる。

6⑥⑧⑨
「エコハウスを設計しよう」
住まい方について身近なことから課題を見つけ、解決策を自分の手立てと未来の住まいを考えることができる。

育成を目指す主な資質・能力

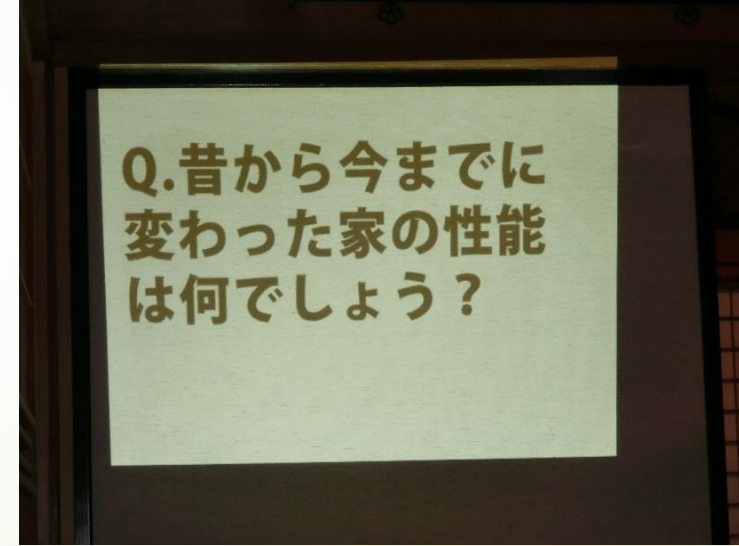
6⑥⑧⑨：育成を目指す主な資質・能力

①家庭科（住居）

一級建築士松塚先生と日本郷家住宅を見学しよう

ねらい

日本郷家住宅の見学を通して、日本の住まいの変遷、気候風土や文化との関わりについて理解することができる。



過去の住宅を
エネルギーの視点で

一級建築士松塚先生と日本郷家住宅を見学しよう

過去の住宅をエネルギーの視点で

生徒の振り返り

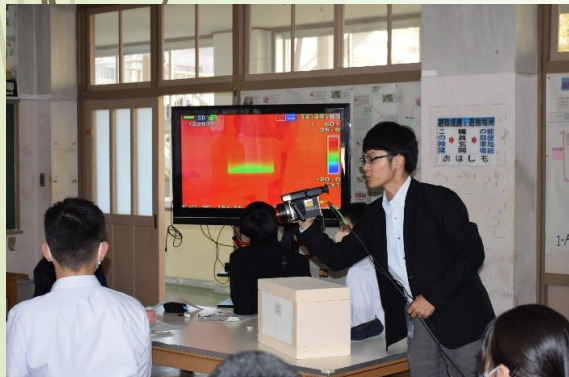
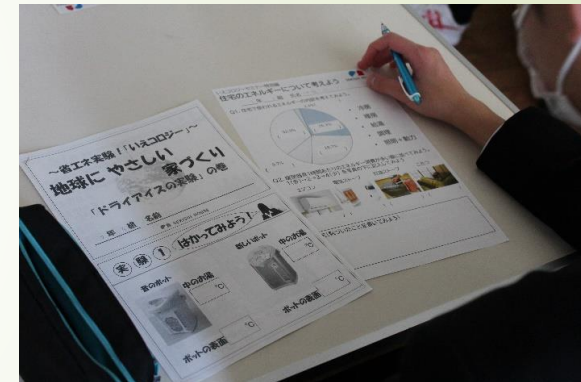
- 「これからの家」を考えて設計しているのはすごいことだと思いました。一つの建物の中に たくさんの工夫や技術がありました。たくさんお金をかけている建物だけれど、無駄がないように設計しているところがエコにつながっていると思います。
- 日本郷家は、今の家とは違う作り方がされていて、いろいろな素材を使っていて、とても不思議に思いました。自分の家と違って、天井が低くてたくさんの部屋がありました。今の家と様々な違いがあることに気付いたので、勉強したことを生かして次回のエコハウスを考えたいです。

②総合的な学習の時間

積水ハウス「いえコロジーセミナー」

ねらい

「住宅」という暮らしの中にある身近な題材を基に、「エコな暮らし方」を理解し、「自らのアクション」を考える。



現在の住宅を
エネルギーの視点で

断熱性能

積水ハウス「いえエコロジーセミナー」

現在の住宅をエネルギーの視点で

生徒の振り返り

- 13年間、家で家族と共に過ごしてきたが、「どのくらいエコなのか」と思ったことはなかった。断熱性能の良い素材について学習したので、自宅の壁はどの素材を使っているのか聞き、学んだことを生かして生活していきたいと思った。11月29日には、エコハウスの合同授業がある。学んだことは使わないと意味がないので、29日楽しい授業になるようにしたい。
- 「いえエコロジーセミナー」では、実験を通して、住宅のエネルギーについて考えることが出来ました。普段当たり前のように使っている家電もエネルギーをたくさん使っていることに驚きました。住宅については、素材によって断熱性能が決まっていることを新しく知ることができたので、次の授業のエコハウスを考えるときに役立てたいです。また、断熱性がいいと、健康にもいいことが分かりました。

③家庭科（住居）

未来のエコハウスを設計しよう！

ねらい

住まい方について、身近なことから課題を見つけ、解決するための手立てと、未来の住まいを考えることができる。



未来の住宅を
エネルギーの視点で



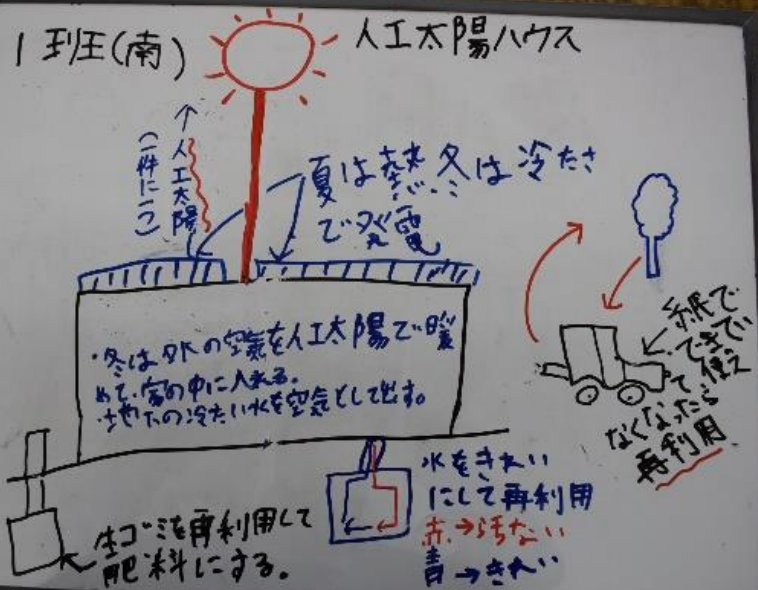
常識にとらわれない

③家庭科（住居）

未来のエコハウスを設計しよう!

ねらい

住まい方について、身近なことから課題を見つけ、解決するための手立てと、未来の住まいを考えることができる。



③家庭科（住居）

未来のエコハウスを設計しよう！

未来の住宅をエネルギーの視点で

生徒の振り返り

- 未来の家について考えると、色々なことが想像できて楽しいと思いました。未来の家の予想図が、とてもロマンがあつて住んでみたいと思いました。
- 地球温暖化は前から大きな問題だったけど、今行動しないとこれからの生活が大変だという、とても深刻なレベルだと改めて感じました。昔や最近の家を学んで、便利になってきている反面、環境に悪いところもあるので、自然エネルギーを使ったり、今はまだ出来ていない技術を考えたりして、エコな家をイメージするのは、とても大切だと分かりました。

次年度(2年生) エコシティーを設計しよう!

持続可能な社会について、身近なことから課題を見つけ、解決するための手立てと、未来のまちづくりを考えることができる



次年度(2年生)のプログラム



洋上風力、太陽光、木質バイオマス発電所見学



次年度(2年生)のプログラム

東北電力出前授業「発電」について



次年度(2年生)のプログラム

気候変動ミステリー授業



気候変動ミステリー授業

生徒の振り返り

- 例えば、クモにかまれた話では、輸出入の船が原因で外来種が上陸したこと、また、地球温暖化の影響で熱帯エリアの生物が北海道でも生きられるようになり、増えていったことなどが分かりました。そして、3つのエピソードについて考えると、ただ自然が変化しているのではなく、人間の行動によって変化し、私たちの生活にも影響が出ているということが分かったので、自分ができる温暖化対策に取り組んでいきたいと思いました。
- 気候変動、温暖化の原因や、自分たちが今できること、やらなければならないことを考えて、生活につなげ、SDGsや地球温暖化の問題としっかりと向き合い、行動したいです。

次年度(2年生) エコシティーを設計しよう!

持続可能な社会について、身近なことから課題を見つけ、解決するための手立てと、未来のまちづくりを考えることができる。



「SDGs商品開発と販売」 (3年総合的な学習の時間)

○ストーリー

「食・エネルギー・国際理解」の総括

○ネットワーク

グローバル

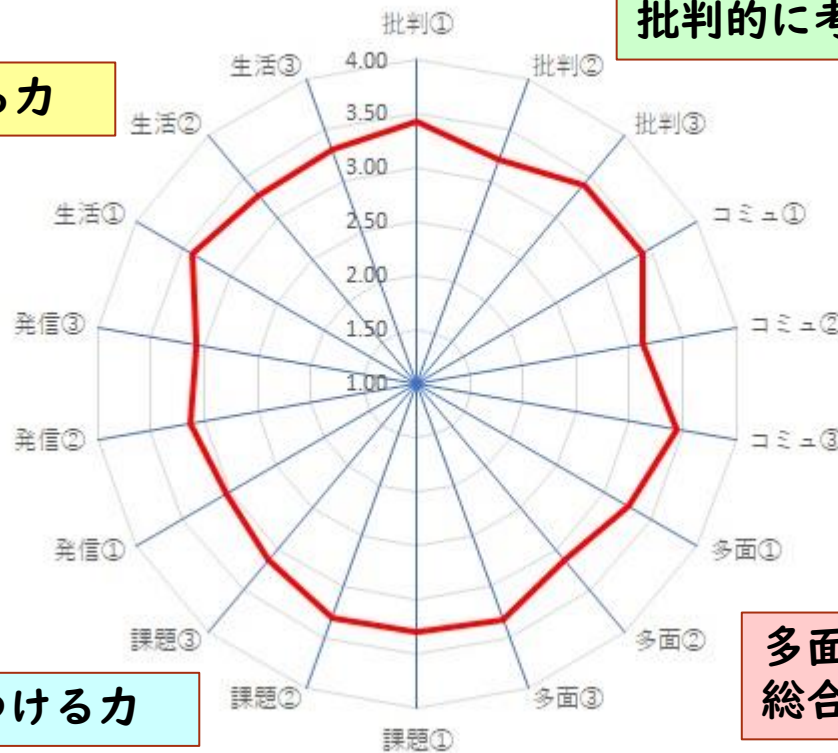
(国際教養大学学生コーディネーター・留学生、キャリア教育コーディネーター、地元企業)

SDGs商品開発



「学習で身に付けたい力」の評価 (令和5年度)

学習で身に付けたい力 (生徒自己評価)



批判的に考える力

生活に活用する力

コミュニケーションを行う力

発信する力

多面的・
総合的に考える力

課題を見つける力

- 批判的に考える力…3.34
- コミュニケーションを行う力…3.33
- 多面的・総合的に考える力…3.24

- 課題を見つける力…3.24
- 発信する力…3.08
- 生活に活用する力…3.33

「持続可能な開発について考え 実践する力」の評価 (令和5年度)

社会科「地球上の全ての人によりよい生活を送るために必要なことは何だろうか」(R4の3年生)

課題に対して、自分からできること、実行したいこと、考えることは？

自分達の意見を発信していくことが大切だと思います。世界中には約78億人の人がいるので、78億通りの意見があると思います。一人一人の意見は違うので対立もあると思うけれど、それを互いに尊重できれば、今よりも良い生活ができると思います。また、日本にいと分らないけれど、貧困で困っている国は私か思っている以上にあることを知りました。その問題は国が国境を越えてつながると解決できると思いました。だから、国際協力を今よりも意識していくことがよりよい生活にもつながると思っています。人と人とのつながりが国と国とのつながりになっていくと思うので、私自身も、たくさんの人と差別なく、多様性を尊重して開けるようにしたいです。

住まい方について

この学習でエコとは何かということを考えてエコハウスをデザインして、改めて自分が取り組むべきSDGsの活動を確認することができました。今は実現できないけれど、50年後はこんな技術が生まれているだろう、と想像しながらデザインしたことが面白かったです。そして、他のグループの考えを聞き、さらにエコについての考えを深めることができました。現在の資源に頼り環境が壊れるような生活が将来、エコで明るい生活になり、過ごしやすい社会になることを願いながら自分も普段の生活からエコを意識しながら過ごしたいです。



今後 **ESD/SDGs** を推進します！

大仙市 **教育からSDGs**

